

- ① … 三菱重工浦和レッズレディース、WE2連覇。そしてアジアの頂点に。  
大宮アルディージャ、プロの意地見せる～2024年度彩の国カップ 第29回埼玉県サッカー選手権大会
- ② … 第4種リーグ、改革～環境改善への第一歩～大山武士 第4種委員長に聞く～
- ③ … 「第5回埼玉フットボールカンファレンス 2024」を振り返る SFA技術委員長 田中龍太郎
- ④ … 女子委員会、ビジョン&ミッションを発表 普及活動開催 長谷川唯選手・浅野菜摘選手
- ⑤ … 大会記録●県内大会 1種・2種・3種・女子
- ⑥ … 大会記録●県外大会 1種・2種
- ⑦ … 大会記録●県外大会 4種・女子・フットサル インフォメーション

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 シャトー雁ヶ音204 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## 三菱重工浦和レッズレディース、WE 2連覇。そしてアジアの頂点に。

プロ化して3年目となった「2023-24 WEリーグ」は、三菱重工浦和レッズレディースが見事に連覇を成し遂げました。またリーグ優勝の前には、ホームに仁川現代製鉄レッドエンジェルズを迎えた「AFC Women's Club Championship 2023-Invitational

Tournament」に2-1で勝利し、アジアの頂点にも立ちました。おめでとうございます。

なお、来季から正式開催となる「AFC Women's Champions League 2024/25」の出場権を獲得し、世界での活躍が期待されます。



2023-24 WEリーグ



AFC Women's Club Championship 2023 - Invitational Tournament

## 大宮アルディージャ、プロの意地見せる～2024年度彩の国カップ 第29回埼玉県サッカー選手権大会

5月11日、「2024年度彩の国カップ 第29回埼玉県サッカー選手権大会」代表決定戦が行われ、J3の大宮アルディージャに、関東サッカーリーグ1部の東京国際大学FCが挑みました。結果は90分で決着がつかず、さらにPK戦に入ると思われた延長後半のアディショナルタイム、+3分に清水祐輔選手の直接FKが決まり、優勝を果たしました。

### ●代表決定戦

大宮アルディージャ 0-0 東京国際大学FC  
(延長1-0)

### 1回戦

東京国際大学FC(社会人代表) 1-1 東京国際大学体育会サッカー部(大学代表)  
(4PK3)



優勝 大宮アルディージャ



決勝 大宮アルディージャ vs 東京国際大学FC

### 天皇杯JFA第104回全日本サッカー選手権大会

1回戦 5月26日

福井ユナイテッド 0-3 大宮アルディージャ

2回戦 6月12日

京都サンガF.C. 2-0 大宮アルディージャ

# 第4種リーグ、改革～環境改善への第一歩

## ～大山武士 第4種委員長に聞く～

この4月14日から「第18回埼玉県第4種サッカーリーグ戦」が開幕しました。今回、参加しているのは443チーム。51ブロックに分かれて、秋の「埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会」を目指します。ただ、今年から従来とは異なる方式で開幕したことはご存じでしょうか。「改革」に踏み切った大山武士・県第4種委員長に話を伺いました。

(聞き手 広報委員・技術委員・女子委員／荒川裕治)

——今年も無事に開幕しました。いきなりですが、今回の大会方式の変更は「改革」だと思うのですが、いかがでしょうか。

大山 「改革」……その一歩目という感じでしょうか。スタートを切ったという感じです。その前に、この場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。

委員長になり3年目を迎えました。今までこの第4種リーグを支えてくださった参加チームの指導者の皆さん、役員の皆さん、地域の皆さん、そしてスポンサーの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございます。ここまで支えていただいたからこそ、ここからが大事だと思っています。埼玉県の子どもたちのために、よりよい環境を整えていきたいと考えておりますので、改めてよろしくお願いたします。

——18年前に開幕した当初と比べて、社会状況が大きく変わってきています。また、地域を見ていくと様々な課題が偏在しています。ただ当時と共通なのは、県内でサッカーを始めた子どもたちが、サッカーを好きになってくれて、続けてもらえる環境が整っているのかどうかです。永遠の課題なのかもしれませんが、その環境のベースが「第4種リーグ」であってほしいものです。私もこの第4種リーグの立ち上げにも関わりましたので、個人的にもリーグそのものが「よりよく」なってくれることを強く願っています。

### まずはS1、S2リーグ

大山 そう、「よりよく」ですね。

今年からその一歩として、東・西・南・北・少女の各リーグの上位に当たる県1部・2部リーグを設置しました。県リーグの名称はSAITAMAの頭文字を使いS1、S2リーグとしそれぞれ8チームずつです。前年度の新人戦中央大会上位4チームと、12チームに関しては、過去3年間の結果（「JFA 全日本U-12サッカー選手権大会埼玉県大会」、「埼玉県第4種サッカーリーグ選手権」、「埼玉県第4種新人戦中央大会」）をポイント制として落とし込み、上位チームに県リーグへ参加していただくことにしました。

——まずは上位となる県リーグの設立からですね。

大山 そうです。しかし、まだ「第一歩」です。それも第4種リーグの改革としての第一歩にすぎません。というのは、4種リーグの改革をしながら、4種全体のサッカー環境を今一度見直す必要性があると考えているからです。

日本における選手育成の指針として発表された「Japan's Way」で、JFAは「ダブルピラミッド」を掲示しています(japansway2022.pdf(jfa.jp)10ページ掲載 ※チームではなく個人をイメージ)。これからのスポーツの文化・価値を「競技」として捉えるか、「参加する、楽しむ」として捉えるかと。どちらがどういうことではないかと思っています。子どもたちはまだまだこの二つの環境を行き来してくれればいいのです。

ですが、埼玉県内の4種登録の523チーム(令和5年度登録チーム数)を見てみると、4種の中で「チーム」という括りになりますが、すでにこのようなダブルピラミッドが存在しています。そして、各参加チームはいろいろな目標設定はあると思いますが、カテゴリーに多くのチーム、そのチームでプレーする多くの子どもたちは「参加する、楽しむ」という部類にいるということなのです。もちろん、子どもたちに関してはまだまだ将来性がありますから、3種で2種で、

さらに大学、社会人で「競技」としてサッカーを楽しんでくれることも期待しています。ただ「チーム」として考えると、地域性なども鑑みて「競技」を目指せるチームはそう多くないのです。

さて、そこで第4種リーグです。これまでのリーグ戦は、どのチームもフラットでした。ブロック分けに際して、地区・地域としての縛りはありましたが、前年度の成績などは反映されませんでした。よって、大差がつく試合も多く、リーグ戦に求められる「拮抗」とは違う環境が続いていたと思います。大敗したチームの子どもたちも、大勝したチームも子どもたちも、サッカーを本当に楽しめていたのか?と思う、現場を見てきました。

また、参加チームにアンケートを取りましたが、多くのチームから現状に対して変化を求められていました。楽しんで競い合いたいという思いが強いのもそうでしたが、問題は少子化による環境の変化です。20年前と比べても、東西南北で選手数もチーム数も違います。1学年で1チームできた時代とは違います。それも20年前は11人制でしたが、今は8人制と少なくなったにも関わらず、「6年生だけでチームを作れない」というチームが、523チーム中202チームにもなります。それだけ環境が変わっているのです。だから私としては、参加してくれるチームに、それぞれのチーム事情に応じた舞台を用意したいと考えた上で、まずは県リーグの整備から始めました。

### 「お手本」になってほしい

——4種年代は全国トップレベルと言ってもいいだけに、もっと切磋琢磨できる環境があっていいということでもありますね。それが県リーグに当たるS1・S2リーグ設立につながっているわけですね。

大山 そう、全国トップレベルなんです。だからこそ、ただ「強いだけ」ではいてほしくないと考えています。このS1・S2リーグに入っている16チームは、他の4種のチームにとって「お手本」になってほしいですね。プレーも高いレベルを求めますが、フェアプレーも同様に求めていきたいものです。もちろん指導者にも、リスペクトの精神をしっかりと身に付けていただきたいのです。16チームが他のチームから目標になるような存在になってくれれば、リーグそのものの質、埼玉県の4種の質が向上すると考えています。

この質の向上に合わせ、今後は、現S1・S2リーグに参加しているチームはもちろん、最終的には、県内全チームを対象に「ウェルフェアオフィサー」の講習会を受講してもらう仕組みづくりも考えています。リスペクト、フェアプレーを理解してもらうと同時に、近年県内で多発している暴言問題にも取り組みたいと思っています。第4種リーグは、埼玉がよりよくなるためのツールの一つ。ですから、今年はその「第一歩」なのです。

——なるほど。「質」の向上については、第4種リーグの創始者でもある横山さん(謙三氏。元SFA会長)も常々話をして、毎年のように求めていたことです。もちろん、その成果はすぐに出てくるものではありませんが、継続していくことで確実に出てくるものだと思います。第4種リーグの質の向上が4種全体の質の向上につながるという考えは、素晴らしいと思います。

そこで、今後の計画を教えてください。

大山 今回は「3年計画」と考えていまして、2年目となる来年度は、第19回大会ではS1・S2リーグの下に「地区1部リーグ」、名称は未定ですが実質的な3部を作る予定で県内の各チームには示させて

いただいています。現在、埼玉県 U-12サッカー連盟各理事と調整を進めているところですが、人口等を鑑みて、各地区の1部リーグ数を決定し、その下に現状と同様のブロックリーグを置き、参入戦を考えています。

一応の完成形は、3年目となる再来年度の第20回大会を予定しています。ここで、ようやくリーグ間の降昇格があるように整えます。やはり降格・昇格があつてのリーグ戦ですから。

こうやってリーグ戦を整備することによって、次に着手することは年間スケジュールです。大会日程から7月、8月を外した上で、改めて第4種リーグ戦を軸にし、かつ「JFA 全日本 U-12サッカー選手権大会」の日程を配慮すると、どうなるのか。各地域、各チームで主催している大会、フェスティバルの日程の調整に協力していただくこともあるかと思えます。

今すぐではありませんが、タイトになり過ぎてスケジュールも調整したいものです。個人的には一定の「量」は必要と思っておりますが「質」があつての「量」だと考えていますので、指導者も子どもたちも、もっと家族との時間を持てるような配慮をしたいですね。これからの時代に向けて、もっとサッカーに関わってくれる人を増やすためにも、改善していきたいものです。

## 価値を上げたい

——スケジュールに関しては同意します。あとできるならば、4種リーグ改革の一つとして、立ち上げから目指してきたホーム&アウェイ方式へのトライもお願いしたいのですが。

**大山** そうですね。僕らの反省の一つに、このリーグ戦そのものが「与えられた」もので、参加チームの皆さんが「受け身」になってしまい、主体性が薄くなってしまっているのではないかというのがあります。会場を提供して集まってもらうセントラル方式だと、ブロック長と呼ばれる各ブロックの役員の方々の負担ばかりが大きくなっています。やはり自分たちの試合として、ホームゲーム開催は目指すところです。

アウェイに行くから「やっぱりホームはいいな」と思えるのでしょ



うし、アウェイから学んで「次はうちのホームでも」と工夫しようという意識が生まれると思うのです。もちろん、現実問題としてホームゲーム開催となるとチーム関係者だけでは難しく、保護者の協力、地域の皆さんの協力は不可欠となることや、会場の問題、リーグ戦に参加していない学年の活動場所の問題なども考えられ、現在、各ブロックがどのような方法でリーグ運営をされているかなどの詳細について改めてヒアリングをさせていただき、理想と現実に向き合いながら4種の役員と共に検討したいものです。

また、リーグ戦の検討を行いながら全体スケジュールも併せて見直ししながら、「JFA 全日本 U-12サッカー選手権大会」の参加方法や開催期間なども併せて検討しています。できればこの内容も今年の秋までには全チームに発表したいと予定しています。各大会によって参加していただくチーム側の価値観も違うとは思いますが、最終的には今開催しているリーグや代表を決める大会などの価値をもっと上げ魅力あるものにしていきたいですね。

——代表を決める場合は「リスペクト」ですね。しっかりした考え、設定があつてこそ、大会に価値が出てくると思います。今回の4種リーグの改革が、4種そのものの環境整備の改善につながるよう期待しています。ありがとうございました。

# 「第5回 埼玉フットボールカンファレンス2024」を振り返る

SFA 技術委員長 田中龍太郎

3月9日土曜日、熊谷市文化創造館さくらめいと太陽のホールにて、「第5回 埼玉フットボールカンファレンス2024」を開催しました。参加していただいた288名の皆さん、ありがとうございました。また登壇された皆さん、役員の方々の皆さん、お疲れ様でした。

まずは、昨年 JFA から発表された「Japan's Way ~ナショナルフットボールフィロソフィー~」を用いて、「『このくへのサッカーの未来』」というタイトルで(公財)日本サッカー協会技術委員会育成ダイレクター(当時、現在は技術委員長)の影山雅永氏のスピーチから



始まり、山崎茂雄 FA コーチ/HOC から「SFA フットボールフィロソフィーと1年目の浸透について」、午後に入って荻野清明技術委員から「セーフガーディングを学ぶ」、最後にパネルディスカッション「4種から始まる【育成】を考える」で幕を締めました。

今回のカンファレンスのテーマは「4種」でした。これまで2種の強化をテーマにすることが多かったのですが、初めて育成、それも4種にスポットを当てました。その理由は、全国的に見てもレベルの高い埼玉の4種をもっとよりよくしていきたいという思いと、改めてとても吸収力のあるこの年代の指導が大事であることを、種別・カテゴリーを超えて理解してもらいたいという思いからでした。

実際、この2年かけて山崎 FA コーチには県だけでなく、東西南北のU12地区トレセンの視察、指導をお願いしました。その中でプレーヤーたちの「可能性」、指導者の皆さんの「変化」を感じ取り、私たちに伝えてくれました。当然ながら4種の指導環境がよくなれば、確実に3種、2種のレベルアップもされるのです。そのしっかりとした「つながり」を作るために、そのツールとして「SFA フットボールフィロソフィー」を作成し、今現在も進化させ続けているところです。

このフットボールフィロソフィーの必要性と現状の埼玉の取り組みに対して、松永英機さん(岐阜県サッカー協会技術委員長/FA コーチ)からコメントをいただきました。JFA、Jリーグで技術委員を、Jクラブでも監督経験をお持ちである松永さんから、高い評価とエールをいただいたことは励みになりました。

また今年度は女子とGKのフットボールフィロソフィーを発動させましたので、これからさらに理解を求めていくことになります。

また4種に話を戻しましょう。一昨年から県フェアプレー・規律委員会が多忙になっています。特に4種年代のチームに関わる指導者の暴言を訴える案件が多くなりました。JFAの相談窓口が全国的に認知されてきたことから、相談が増えたことが大きな要因のようですが、残念ながら、中でも我が埼玉県の場合は全国的に見ても多く、指導者の意識改善は不可欠のところきています。ただプレーヤーたちが上手くなり、チームが強くなればいいのか。いや、そうではありません。サッカーファミリーの拡大を目指す上で子どもの誰かがサッカーが嫌いになってしまう状況は見逃すわけにはいきません。今回、荻野さんが短い時間の中でも丁寧に「気づき」をもたらしてくれたと思っています。いかがだったでしょうか。

そして、初の試みとして行ったパネルディスカッションでは浦和レッズから土橋正樹さん、大宮アルディージャからは金川幸司さんを迎え、鳴島吉和 U12 トレセンダイレクター、山崎茂雄 FA コーチにも参加していただきました。「なぜ指導者ライセンスが必要なのか」「4種までの育成で大切にしていることは何か」をテーマに意見を述べていただきました。質疑応答も含めて、ここで挙げられた話を共有できれば、もっと埼玉の4種の指導環境はよくなるだろうと思えました。

今回は D 級ライセンスの方、さらには一般の方にも門戸を広げました。今までのカンファレンスはリフレッシュポイントを獲得する場だったと思います。しかしながら、このフットボールカンファレンスは、ここまでの埼玉のサッカーの進歩の過程を整理し、これからの2年に向けた指針を示す場です。ですから、ライセンスの有無は問わ

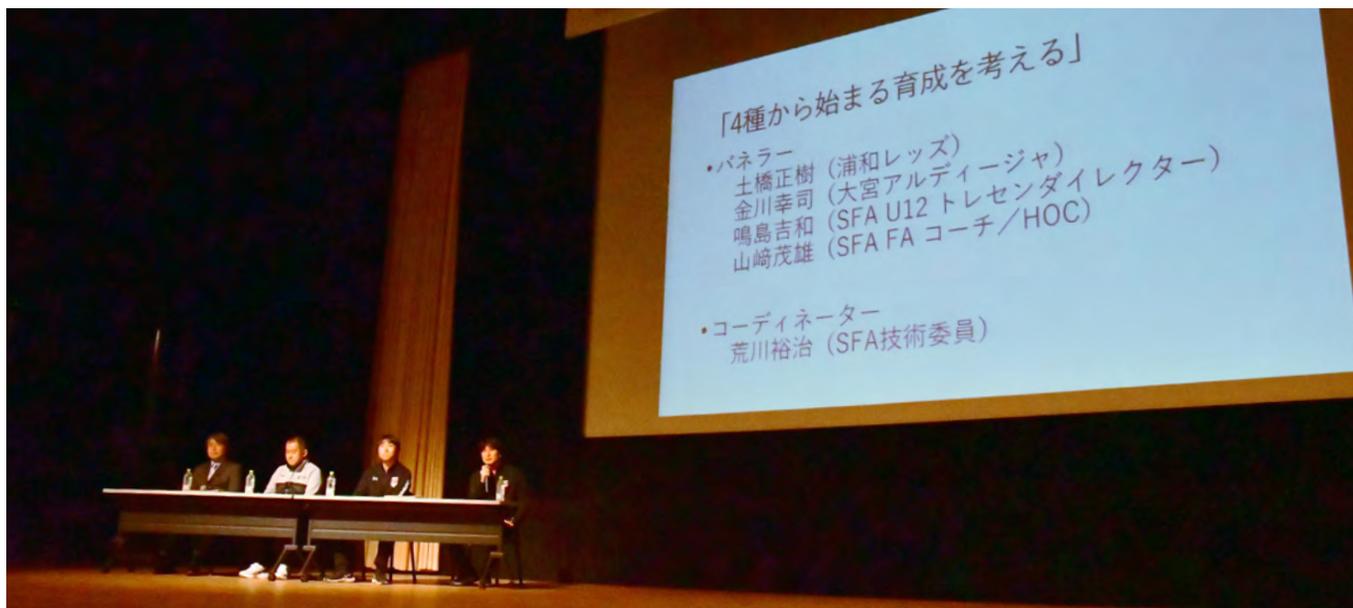
ずに多くの県民の皆さんに参加していただけるような場にしなくてはならないと考えたからです。

ただ、会場の問題もあります。今後に向けては様々なご意見をいただいておりますが、オンライン配信なども視野に入れながら、準備を進めていきたいと考えています。

閉幕後、今回の役員の方々が「さあ、次ですね」と声をかけあいました。振り返るのではなく、「これから」に目が向いているということです。確かにカンファレンスを振り返ると、開始時間が遅れたことで最後のパネルディスカッションが短縮せざるを得なかったなど反省することも多かったのですが、それでもチャレンジしたことにより課題もはっきりしました。そして、なによりも会場に来ていただいた皆さんから多くの肯定的なご意見をいただいたことが、次回への責任の重さを感じると同時に、モチベーションにつながっています。アセスメントの記入もありがとうございました。

今後も SFA フットボールフィロソフィーは進歩を続けます。技術委員会としては、その歩みを止めないためにも、これまで考えてこなかった(見えていなかった)環境整備にも踏み込むことにしました。従来の常識に囚われることなく、セカンドカーブを意識して常に見据えたアクションをし続けるには施策を打つだけでなく、同時に環境を整えることが必要不可欠だと考えています。

先日、うれしい話がありました。UEFA と互換性のあるコーチライセンス(ユース A)の講習会に、SFA フットボールフィロソフィーの取り組みが紹介されました。ここまでの過程と成果が評価されてのことです。今後も、様々な形で情報発信をしながら、県民の皆さんに支援していただけるような活動を続けてまいります。引き続きよろしくお願いたします。



# 女子委員会、ビジョン&ミッションを発表

女子委員会（渡辺典子委員長）は、県内の女子サッカー発展を目指すべく、ビジョンとミッションを掲げることになりました。今後、指針として様々な場面で展開し、女子サッカーへの理解を求めてまいります。ぜひ、ご協力ください。

## ビジョン

「Be Wonderful」～ Saitama に生まれて、Saitama で育て……良かった Soccer が好き……埼玉県民の皆さんにもっと女子サッカーを好きになってもらう Saitama のサッカー……埼玉らしいプレイヤーの育成～技術委員会との連携 Soccer は楽しい……子どもから大人まで生涯を通じてサッカーに親しめる環境を作る

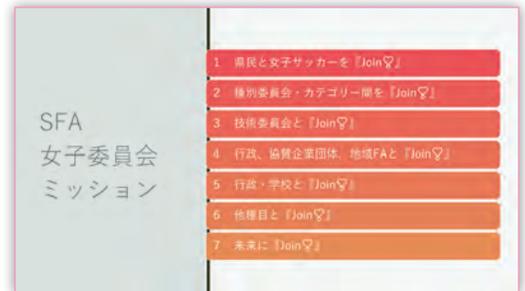
## WONDERFUL

- W Woman (女性)
- O Open (誰にでも開かれた)
- N Next (次へ)
- D Dream (夢)
- E Enjoy (楽しむ)
- R Respect (大切に思うこと)
- F Fairplay (フェアプレー)
- U United (つながる)
- L Lifetime (生涯)

## ミッション

『Join♡』～つなぐを目指して～それぞれのゴールに『Join♡』

- 1 県民と女子サッカーを『Join♡』……埼玉県民に女子サッカーの啓蒙活動を行う
- 2 種別委員会・カテゴリー間を『Join♡』……世界的なトッププレイヤーの育成、3種年代のクラブ創出のサポートなどから、次世代に繋げる指導者、審判の育成を目指す
- 3 技術委員会と『Join♡』……いつまでも楽しくサッカーができる技術を指導
- 4 行政、協賛企業団体、地域FAと『Join♡』……女子サッカーの仲間づくり、生涯スポーツとしての年代の女性も楽しく安全にプレーできる環境づくり、女兒と母親を対象とした普及活動
- 5 行政・学校と『Join♡』……サッカーを通じて社会的、教育的課題(SDGsなど)の解決を目指す
- 6 他種目と『Join♡』……女性スポーツの地位向上
- 7 未来に『Join♡』……埼玉県女子サッカーのレガシーを形成する



## 長谷川 唯 選手(マンチェスターシティ)が地元で普及活動開催「Dream Clinic 唯」～夢を未来につなぐ toda～

戸田市出身でパリ・オリンピックの「なでしこジャパン」メンバーにも選ばれた長谷川選手が、地元である南稜高校グラウンドで、後輩である小学生、中学生たち約100名との交流を行いました。土のグラウンドにも関わらず華麗なコントロール、ドリブルを見せて、子どもたちに刺激を与えてくれました。また全員と記念撮影などを行うなど、素晴らしいファンサービスもありました。

地元企業である「ニッケングループホールディングス」と戸田市U-12サッカー連盟との共催で実現したこのクリニックは、4月、5月とオンラインで子どもたちと交流をした上で行われたものでした。しっかりと段階を踏んだことで、子どもたちは長谷川選手をより身近に感じてくれたと思います。この中から一人でも多く、長谷川選手に続いて世界を目指してほしいものです。



## 普及活動～浅野菜摘選手によるゴールキーパークリニック

6月3日月曜日、ちふれASエルフェン埼玉のGK浅野菜摘選手によるゴールキーパークリニックが開催されました。あいにくの天候となりましたが、未来を背負う4名のGKが集まり、有意義な時間を過ごしました。

浅野選手にとっては初の子どもたちへの指導。それも自ら企画してプレゼンし、クラブの全面サポートを受けてのクリニックでした。またサポートとして小野未織選手も加わり、デモンストレーションをしてくれたことで子どもたちには、とてもわかりやすかったのではないのでしょうか。

「1日だけのクリニックで、どういう子どもたちが来てくれるかわからない中、いろいろな想定、シミュレーションをしましたが、難しかったですね。実際に指導してみて『どう伝えたらいいんだろう?』と考え過ぎた場面もありましたが、子供の目線になって自分の思ったことを伝えられたかなとは思っています」(浅野選手)

「私にとっても初めてのことで『教える』というイメージが持てないまま臨みましたが、私がプレーする姿を見てもらうことで学んでもらえればいいんだという手応えは感じました。反省としては、ちょっとした空き時間に少しでもコミュニケーションを取って、アドバイスができたならもっといいクリニックになったのにな、と思いました」(小野選手)

時間とともに、プレーヤーたちの「姿勢」がよくなっていき、GKらしさを醸し出してくれました。このような普及活動が継続的に行われることを願っています。

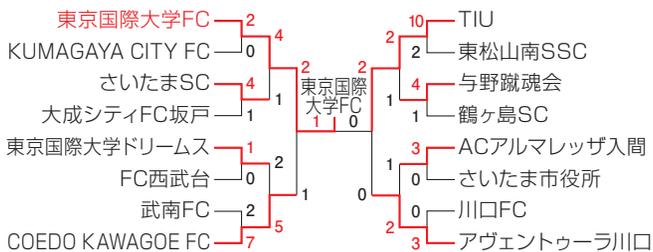


## 大会記録 ● 県内大会

### 1種・社会人

#### 第15回埼玉県社会人サッカートーナメント会長杯 兼 第29回彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会予選

1月7日～3月3日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他



※優勝した東京国際大学FCは、「2024年度彩の国カップ第29回埼玉県サッカー選手権大会」に出場する

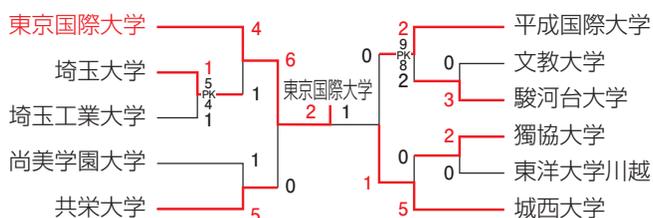


決勝 東京国際大学FC vs TIU

### 1種・大学

#### 2024年度 彩の国カップ第29回埼玉県サッカー選手権大会 大学代表決定戦

2月17日～3月9日 SFA フットボールセンター他

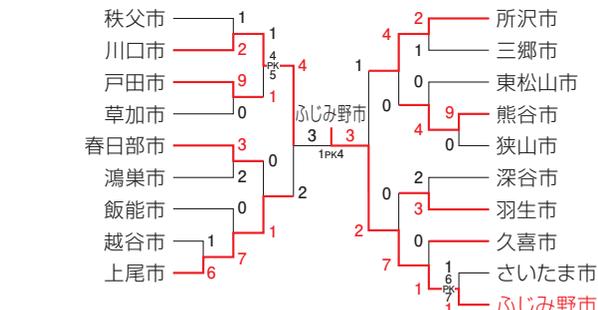


※東京国際大学サッカー部が彩の国カップに出場

### 1種・自治体

#### 2023年度埼玉縣市町村対抗戦兼県民総合スポーツ大会

2月11日～3月10日 熊谷スポーツ文化公園東多目的広場他

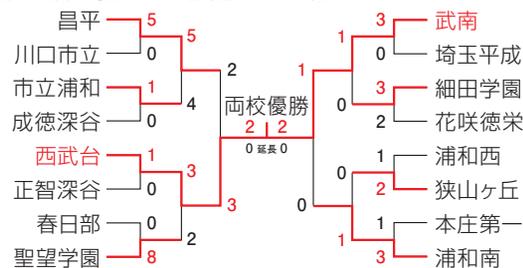


※優勝はふじみ野市

### 2種・高体連

#### 令和5年度県民総合スポーツ大会兼埼玉県高校サッカー新人大会

2月10日～18日 埼玉スタジアム第2グラウンド他



※西武台、武南、両校優勝



優勝 武南



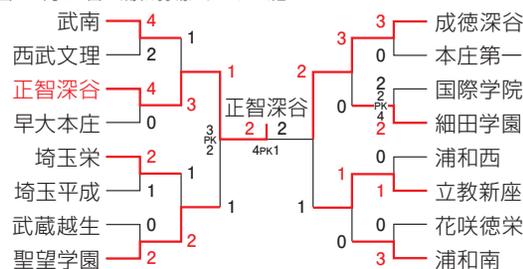
優勝 西武台



決勝 西武台 vs 武南

#### 令和6年度 関東高等学校サッカー大会 埼玉県予選

4月13日～4月29日 浦和駒場スタジアム他



※優勝した正智深谷高校と準優勝の成徳深谷高校は関東大会へ出場する



優勝 正智深谷



## 大会記録 ● 県外大会

### 1種

#### 日本スポーツマスターズ2024 サッカー競技 関東予選会

2月17日、18日 SFAフットボールセンター

1回戦 埼玉県選抜 3-0 J Bus宇都宮0-35

代表決定戦 埼玉県選抜 1-0 千葉県選抜

※埼玉県選抜と神奈川県選抜が本大会へ出場



埼玉県選抜

#### 第57回全国自衛隊サッカー大会

4月13日~20日 味の素フィールド西が丘他

##### ●予選リーグ

##### Dブロック

陸自 国分自衛隊サッカー部 1-2 空自 航空自衛隊入間基地サッカー部

海自 岩国・小月サッカー部 1-2 空自 航空自衛隊入間基地サッカー部

※空自 航空自衛隊入間基地サッカー部はブロック1位

##### Eブロック

陸自 FC伊丹 0-4 空自 FC3DEP

空自 FC3DEP 3-0 空自 ついきFC

※空自 FC3DEPはブロック1位

##### ●決勝ラウンド

##### 準々決勝

空自 AZZULA. MATSUSHIMA. FC 1-2 空自 航空自衛隊入間基地サッカー部

空自 FC3DEP 1-0 海自 ANFC 海自なかよし

##### 準決勝

海自 海上自衛隊厚木基地マークス 4-0 空自 航空自衛隊入間基地サッカー部

空自 FC3DEP 0-0 海自 下総航空基地サッカー部 (4PK3)

##### 3位決定戦

空自 航空自衛隊入間基地サッカー部 1-2 海自 下総航空基地サッカー部

##### 決勝

海自 海上自衛隊厚木基地マークス 5-3 空自 FC3DEP

※優勝は海自 海上自衛隊厚木基地マークス。空自 FC3DEP は準優勝、空自 航空自衛隊入間基地サッカー部は4位。

### 2種

#### 第67回関東高等学校サッカー大会

5月25日~27日 ゼットエーオリブスタジアム他

##### ●Aグループ

1回戦 正智深谷 3-0 白鷺大足利(栃木)

2回戦 正智深谷 0-3 大成(東京)

※優勝は大成高校。正智深谷は大会3位

##### ●Bグループ

1回戦 東京成徳大深谷 4-0 東海大甲府(山梨)

2回戦 東京成徳大深谷 1-1 前橋育英(群馬)  
(5PK3)

決勝 東京成徳大深谷 0-3 横浜創英(神奈川)



Aグループ 正智深谷



2回戦 正智深谷 vs 大成



1回戦 正智深谷 vs 白鷺大足利



Bグループ 東京成徳大深谷



決勝 東京成徳大深谷 vs 横浜創英



2回戦 東京成徳大深谷 vs 前橋育英



1回戦 東京成徳大深谷 vs 東海大甲府

## 4種

### 2024 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー IN 関東

3月16日、17日 佐野市運動公園

#### ●グループリーグ

##### Aパート

レジスタFC 2-1 横浜F・マリノス  
レジスタFC 3-0 ヴァンフォーレ甲府  
レジスタFC 2-0 鹿島アントラーズ

※レジスタFCはAパート1位

##### Dパート

鹿島アントラーズつくば 1-2 東松山ペレーニアFC  
東松山ペレーニアFC 1-3 ファナティコス  
東松山ペレーニアFC 2-0 Uスポーツクラブ

※東松山ペレーニアFCはDパート2位

#### ●決勝トーナメント

準々決勝 レジスタFC 2-0 横河武蔵野FC  
川崎フロンターレ 7-0 東松山ペレーニアFC  
準決勝 レジスタFC 0-3 川崎フロンターレ  
順位決定戦 横河武蔵野FC 3-1 東松山ペレーニアFC  
3位決定戦 レジスタFC 1-0 横浜F・マリノス

※優勝は川崎フロンターレ。レジスタFCは3位で本大会出場

### チビリンピック 2024 JA 全農杯 全国小学生選抜サッカー 決勝大会

5月3日~5日 日産スタジアム他

#### ●グループA

MFC.VOICE(愛知) 0-3 レジスタFC  
サガン鳥栖 0-4 レジスタFC  
センアーノ神戸 1-1 レジスタFC

※レジスタFCはグループA1位

#### ●決勝トーナメント

準々決勝 レジスタFC 2-1 ベガルタ仙台  
準決勝 レジスタFC 1-1 FC ZERO(大阪)  
(2PK0)  
決勝 レジスタFC 0-0 川崎フロンターレ  
(延長0-0、PK 3-1)

※レジスタFCは2連覇で5回目の優勝

## 女子

### 第12回関東高等学校女子サッカー大会

5月25日~27日 第一カッターフィールド他

1回戦 川口市立 0-8 十文字(東京)

※優勝は十文字高校。

### JFA 第35回全日本U-30女子サッカー大会

3月16日~18日 時之栖スポーツセンター裾野グラウンド

#### ●1次ラウンド・グループB

おいでやす京都 1-2 FC楓島Lifelong  
FC楓島Lifelong 1-1 スフィーリア呉羽FC  
FC楓島Lifelong 5-0 FCべにばな

※FC楓島Lifelongはグループ1位

#### ●順位別ノックアウト

準決勝 シュピーニ大阪 1-0 FC楓島Lifelong  
3位決定戦 FC楓島Lifelong 3-1 大和シルフィード98

※優勝はシュピーニ大阪。FC楓島Lifelongは3位

## フットサル

### 第26回関東フットサルリーグ2部参入戦・入替戦

2月10日、17日 昭和田総合体育館他

#### ●参入戦

1回戦 スプリズ 8-1 プロGRESS甲府昭和

#### 入替戦

NÓVO MENTE(茨城県) 3-6 スプリズ

#### 入替戦

AOHフットサルクラブ(関東2部11位) 0-4 スプリズ

※スプリズは関東2部昇格が決定、AOHフットサルクラブは埼玉県1部に降格

### 第15回関東女子リーグ参入戦・入替戦

2月4日、17日 昭和田総合体育館他

#### ●参入戦・1回戦

AOHレディース 2-3 ケルアミーガス(千葉県)

### 第2回関東U-18フットサル選抜大会

2月23日 彩の国くまがやドーム体育館

#### グループA

埼玉県U-18選抜 4-1 デルミリオークラウド群馬  
神奈川県U-18選抜 8-1 埼玉県U-18選抜

※埼玉県U-18選抜はグループ2位。優勝は神奈川県U-18選抜

### 第10回自衛隊女子フットサル大会

4月13日、14日 自衛隊体育学校 三宅記念体育館

#### ●予選リーグ・Aブロック

Amley(空自入間) 1-0 Luter Deusa(海自厚木・下総)  
Amley(空自入間) 0-0 Lenis(空自百里)  
Amley(空自入間) 3-1 ソリッサMISAWA(空自三沢)  
Amley(空自入間) 1-1 NICCA(空自千歳)

※Amley(空自入間)はブロック1位

#### ●決勝ラウンド

準決勝 Amley(空自入間) 0-0 JMSDF KANOYA(海自鹿屋)  
(4PK3)  
決勝 Amley(空自入間) 0-1 NICCA(空自千歳)

※優勝はNICCA(空自千歳)

## インフォメーション

### ●GK L-1講習会開催

2月3日から週末利用の4日間「JFA GKレベル1コーチ養成講習会 2023 SFA コース」を開催しました。小林忍チューター(U20女子日本代表GKコーチ)、中上智晴チューター(大宮アルディージャVENTUS)を講師に迎え、GKコーチだけでなく、自チームにGKコーチがいないという方にも参加していただきました。

他県と比べて、埼玉出身で活躍しているGKは多いのですが、まだまだGKコーチが不足しているという状況です。もっとGKコーチが増えてくれば、よりよいGKを全国に、世界に送り出していけるのではないのでしょうか。2024年度は1月18日からの開催を予定しています。FPのコーチの方もぜひ受講してください。



### ●フィジカルフィットネスC級講習会開催

4月29日から4日間、SFAフットボールセンターにおいて、47FA初開催となる「JFAフィジカルフィットネスC級コーチ養成講習会」が開催されました。JFAフィジカルフィットネスプロジェクトチームの菅野 淳氏(U-19日本代表フィジカルコーチ)、芝浦工業大学の石崎聡之氏(SFAでもC級D級チューター)に指導していただきました。県内外から集まった24名の参加者の皆さん、お疲れさまでした。

なお、この講習会をきっかけに、6月24日に技術委員会として「フィジカルコンディショニング研修会」を開催し、菅野さんに再度来県していただきました。技術、戦術と同様、フィジカルフィットネスの重要性に触れることができました。

また、7月28日と3月16日には、リフレッシュ研修会として立教大学スポーツウェルネス学部長の沼澤秀雄教授による「キッズ年代からの成長と動き作りの考え方」も開催されます。ぜひ、ご参加ください。

